

和泉地区 保護司会会報

発行所 和泉地区保護司会
責任者 古下義隆
〒594-0071 和泉市府中町4-20-4
和泉市社会福祉協議会内
TEL 0725-43-7513

活動紹介

「薬物乱用防止教室」を実施

去る7月6日(水)和泉中学校(原田尚史校長)にて、中学2年生284名の8クラスを対象に体育館にて「薬物乱用防止教室」を実施しました。当日の6限目に行い、学校側には田中先生を中心に、各クラスの先生方の協力を得まして、和泉地区保護司会 古下義隆会長の挨拶に始まり、また講師には北口が担当させて頂きました。

前年度はコロナの関係でオンライン授業として、3年生と2年生を対象に実施しましたが、今回は生徒たちと顔を合わせながら実施となり、内容については、最初にDVDタイトル「それってホント?事例でみる薬物乱用」を鑑賞していただき、講話については次の2点を重点的に説明しました。

- ①薬物乱用の恐ろしさ
 - ②薬物を誘われたらキツパリ断ること
 - ③薬物を誘われたらキツパリ断ること
 - ④先輩から誘われた場合
 - ⑤街角で知らない人に誘われた場合
- また今回の薬物乱用防止教室については、例年どおり和泉中学校の事務所前にて、薬物乱用防止パネル4枚と薬物標本を展示して生徒たちに見ていただき、資料の提供につきましては、泉佐野保健所

のご協力をいただき、生徒たちにおいても薬物乱用の恐ろしさを説明させて頂きました。

最後に、コロナ禍を早く収束に向けて、次回も「薬物乱用防止教室」が、今年同様生徒たちと顔を合わせての授業となる事を願うと共に、和泉中学校の生徒の皆様方におかれましては、引き続き健康で楽しい学校生活を過ごされます様、ご祈念いたします。

(中ブロック 北口 吉輝)

年輪大学

和泉市社会福祉協議会では、和泉市立総合福祉会館の事業の一環として、高齢者大学である「年輪大学」を開講しています。この講座は、学ぶもの同士が集い、学習とふれあいを通し、生きがいづくりを育むことを目的とし、24回の年間講座のテーマを学習しています。私は、その中の「保護司と更生保護」というテーマの講座の講師を依頼されました。6月15日、和泉市立総合福祉会館で、14名の受講生の前に立ち、講話をしました。初めに、「社会を明るくする運動」広報DVDを

(東ブロック 藤本 幸晴)

更生保護サポートセンター運営報告

各ブロックから選任された企画調整保護司が当番のシフトを組み駐在しています。保護司をはじめとした更生保護に関わる人が集うサロン化して多くの方々に気軽に立ち寄っていただき、世間話から発展して意見交換や情報交換できることと親交を深めることを期待しています。また、保護司会はもろんのことと更生保護女性会の会合や保護観察官の定期駐在、保護司が行う保護観察面接等々で活用しています。令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大に伴いその予防対策から多くの活動が制限されたため利用状況に多少の減が見られますが、状況は次の表の通りです。

令和4年度(令和4年4月～令和4年8月)利用状況									
内容別利用数	属性別来訪者数 (延べ人数)								
	市民	学校関係	行政職員等	更生保護関連団体	保護観察官等	保護司	その他	面接	会議
8	11	0	269	5	4	20	5	20	

【注】その他:資料作成,事務補佐 行政職員等:事務局員含む 市民:保護観察対象者,引受人等含む

※保護観察対象者等との面接用に別室を用意できますのでご利用下さい。(要予約) (中達武美)

受賞

永年にわたり更生保護事業の発展に多大なご功績あつた次の方々が藍綬褒章の荣誉に浴されました。

和田 正臣保護司(令和三年四月二十九日) 細原 裕子保護司(令和四年四月二十九日)

行事予定

- ★大阪更生保護大会 十月二十七日(水) フェニーチェ堺
- ★管外研修 十一月八日(火)～九日(水) 和歌山 稲むらの火の館
- ★第三回定例研修会及び連絡会 十一月二十日(火)
- 和泉市コミュニティセンター
- ★新年互礼会並びに退任保護司謝恩会 二〇二三年一月 うお健
- ★第四回定例研修会及び総会 二〇二三年三月
- 和泉市コミュニティセンター



第72回「社会を明るくする運動」和泉地区推進大会 作家・元衆議院議員山本讓司氏講演『塀の中の現実』―福祉の代替施設と化する日本の刑務所―を聴いて



中ブロック 横田 信

第72回社会を明るくする運動推進大会において、作家・元衆議院議員山本讓司氏から表題のご講演をいただいた。弁舌は爽やかであり、ユーモアを交えながらも理路整然とした講演内容であった。

話は山本氏が黒羽刑務所に収容された時から始まる。そこでの担当は刑務所の中の刑務所と呼ばれていた寮内工場での障がいをもつ受刑者の世話係であった。知的障がいを初め、ろうあ者、認知症、精神障がいなど障がいの程度も重く本来であれば福祉の手立てが必要な人たちの身辺の世話が作業となった。服役中300人あまりの受刑者を世話し、議員時代には見えなかった我が国の福祉行政の矛盾点に気付くこととなる。福祉予算額が欧米に比べ極端に低いこと、その方向性が障がい者を社会で包括してゆくのではなく排除することに向けられてい

ること。殊に触法障がい者については受け入れる施設すら見当たらないこと。又、社会も障がい者に対し人権尊重の姿勢をとってこなかったため、劣悪な生活環境に置かれた障がい者は軽微な犯罪に走らざるを得ないことなどが語られた。刑務所内でもIQ69以下の知的障がい者が25%を占めている現状では、福祉的な処遇が必要であらうし、出所後も福祉の援助が必要不可欠であると述べる。又、触法障がい者というさせない社会が、真の行政社会を作ると主張する。最後に映画「ライ



桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科3年 久松紀代夏

この社会には冷たさ、厳しさが存在する。我々が暮らすこの社会の中に、差別される人や排除される人がいる。その多くは障がいのある人や高齢者で、家族にも地域にも、そして福祉にも守られずたどり着く先は、塀に囲まれた刑務所。さらに出所後も再度刑務所に「帰っていく」という。この現実を私はどう受け止めて、どのように今後につないでいけば良いのだろうか。20歳の大学3年生、将来は更生保護の道に進もうと志している私なりに、今回の山本讓司先生の講演を通じた所感を述べたい。

山本先生は講演の中で、「刑務所は、厳しく冷たい社会から守られている。社会で差別されている人や排除されている人に、刑務官は居場所を与えているように接している。」と話されていた。この言葉が私は忘れられない。刑務所のイメージが180度と変わったからである。彼らは、

犯罪をしたから差別や排除されるのではなく、もともと社会から差別や排除の対象であったから逃れるように刑務所に入っていると。そして、塀の中では刑務官が居場所を、食べ物、いずれどこかで役立つ刑務作業を与えている。介護、福祉のプロではない刑務官らはどんな思いでいるのだろうか。講演を聴いていて感じた。そもそも刑務所も社会の中に存在するため、この社会と刑務所を比較対象として並べられないと思うが、山本先生の話を聴いていると、犯罪をしたか否かという違い以上に、帰る家はあるかどうか、頼れる人はいるかどうかなど、塀を介してこんなにも違うことを考えさせられた。そして、刑務所に入る人たちが本当に世間の思う「悪人」とは言い切れないことに気づいた。

この講演後、大学のサークルを介して和泉市BBS会に入った。まだ登録をしただけであるが、また一歩、更生保護分野で活躍されている方々と繋がる事ができた。今後も学生のうちにたくさん吸収していきたいと思う。

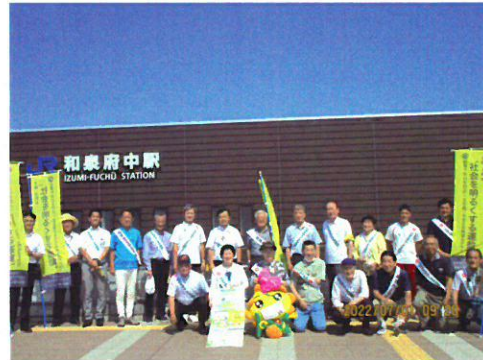
第72回「社会を明るくする運動」



南ブロック 推進委員 街頭啓発
2022年7月10日



南ブロック ミニ研修(南松尾老人集会所)
2022年7月19日



西ブロック 推進委員 街頭啓発



北ブロック 推進委員 街頭啓発
2022年7月1日

第72回社会を明るくする運動はコロナ禍の中、7/1和泉府中駅前ティッシュ配りの街頭啓発を皮切りに7/2の推進大会へと新型コロナウイルスの感染状況を窺いながら実施した。

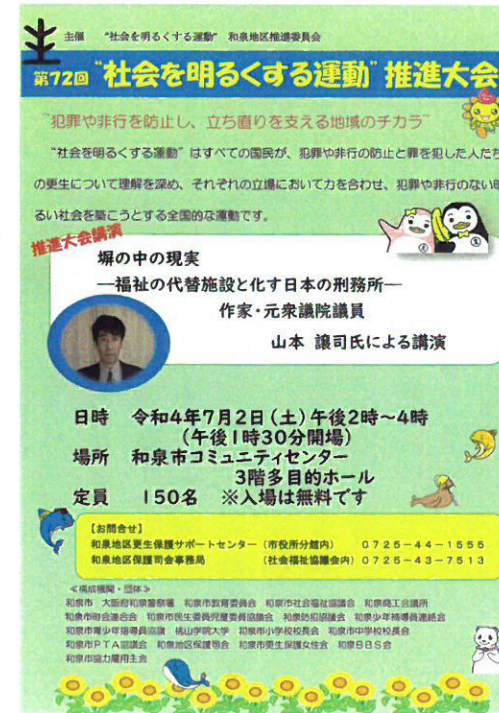
推進大会では参加定員を本来入場可能な数より低く150人位にみつもっていたが入場制限が緩和の方向にあり250人まで参加者枠を広げた。人数の増員には町会の協力が大きかった。また、広報活動では町会の掲示板、商工会議所のチラシ配付の他、郵便局、市内施設、外郭団体でのポスター掲示、チラシの配布、地域情報誌掲載で啓発した。

大会の反省では、講演時間が長かった。保護司のブロック長が中心となって実施できた。など意見交換を行なった。

ブロックでの活動

- 東ブロック 7月 ポスター掲示 ティッシュ配付(国華園)
- 南ブロック 7/10 10時 和泉中央駅 街頭啓発
- 7/19 19時 南松尾老人集会所 出前講座
- 西ブロック 7/1 9時 和泉府中駅 街頭啓発
- 中ブロック 6/26 10時 信太山駅 街頭啓発
- 8/20 14時 人権文化C 薬物乱用防止(中止)
- 北ブロック 7/1 9時 北信太駅 街頭啓発

(社明担当: 松山、中達)



推進大会ポスター



古下 保護司会会長



辻 和泉市長(社明大会推進委員長)



石井 大阪保護観察所堺支部長

大会後記

「山本譲司先生にぜひ会いたい」と社明運動の講演会控室に、久松さんという女子大学生が来られました。彼女は山本さんの本を読み感動し、更生保護の道に将来携わりたい、と考えました。そして友達3名とともにBBSに加入されました。(本誌第一面の久松さんの寄稿文をご覧ください)

人権擁護委員の研修として講演会に参加された委員の一人は、「図書館で獄窓記を借りて読んだよ」と報告してくれました。(さすがですね!)

藤岡前保護司会会長は、「講演会の案内リーフレット、30名の方に配ったよ」と言ってご家族とともに参加されました。

講演会はコロナ禍にも関わらず240名を超える参加者で成功裡に終わる事が出来ました。保護司会・BBS・更生保護女性会や推進委員会の皆様に、心から感謝申し上げます。

(会長 古下義隆)



中ブロック 社明運動パネル

斉藤保護司が子どもが遊べるカードゲームを作成しました。
ご希望の方は更生保護サポートセンターまで。



第72回"社会を明るくする運動"推進大会

第72回"社会を明るくする運動"作文コンテスト
作文コンテストは、次代を担う全国の小中学生に日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことをもとに犯罪や非行のない地域社会づくりなどについて考えたこと感じたことを作文にすることを通して"社会を明るくする運動"に対する理解を深めてもらう。

応募総数: 709

提出数: 37

(作文担当: 中達、松山)

和泉市入賞者(敬称略)

優秀賞 中学校の部

光明台中学校 中2 居山 悠葵

南松尾はつが野学園 7 村上 陽奏

南松尾はつが野学園 7 濱谷 航太郎

優秀賞 小学校の部

国府小学校 6 永野 美空

和気小学校 6 川本 彩加

南松尾はつが野学園 6 北浦 凜

佳作 中学校の部

光明台中学校 中3 松井 湖雪

南松尾はつが野学園 9 阪東 来未

南松尾はつが野学園 8 鈴木 優空

佳作 小学校の部

国府小学校 6 堀 聖菜

国府小学校 6 山本 菜乃花

南松尾はつが野学園 6 中本 愛柊



山本 譲司氏



推進委員の皆様



来賓の皆様